

問 合併浄化槽への計画を見直すべきではないか

答 横芝町は、農業集落排水・公共下水道・合併処理浄化槽の3つの整備手法、整備区域を定めておりますが、当面は個別合併処理浄化槽等に対応せざるを得ませんが、将来的には公共下水道により汚泥、汚水の適正で経済的な一括管理をしていくことが必要と考えています。

▼財政運営

問 ①財政悪化の原因をどうとらえているか

②今後見込まれる大事業の運営をどう考えているか

答 ①バブル期以前から継続しての坂田池公園整備事業、近年では、保健福祉センター建設事業など一連の施設整備事業により、多額の借入れをしております。この借入金の返済が負担となっていることや、施設の維持管理費などが支出増の一因です。このほか、し尿・ゴミ処理場の大規模施設整備事業に伴う負担金増などが、原因となっております。

②中学校建設については、敷地面積や施設規模等を見直し、過大な財政負担とならないよう抑制を図ります。

このほか道路、公共施設等は、緊急性や必要性が高く早期に推進する必要がありますがどうかについて見直しを行い、限られた財源を重点的に配分し、効果的に執行できるように努めてまいります。

杉森 汎 議員

▼行政改革

問 ①本年度の一般会計予算は削減できなかったのか

②各種委員の報酬等の削減

③助役・収入役は町長が兼任してはいいかがか

④いまなぜ花火大会なのか

答 ①経常的経費全般にわたり前年度当初予算の5%削減を目標に査定し、このうち旅費、需要費、清掃委託料などの削減、補助金の廃止・減額をしました。今後も職員が一丸となり経費節減のため町政全般にわたる改革を進めてまいります。

②本議会に監査委員の報酬、審議会委員等の報酬についての引き下げを提案しています。今後、特別職等の給与なども見直す必要があるかと考えています。

③助役は町長が兼任できませんが、収入役は兼任できません。

助役については、合併問題等、様々な面でアシストをお願いするなど大変重要なポストと考えています。

④昨年は、観客の安全確保を第一と考え休止をしましたが、観光協会より打ち上げ場所等の見直しを行い再開したい旨、話があり、花火大会開催は、地域間の交流促進、活性化等地域の連帯感の醸成のためにもぜひ必要な事業と考えています。

▼中学校建設

問 ①進捗状況（土地買収等）について

②建物及びグラウンドの規模

③工事の期間及び工事費等

答 ①目指す学校像や学校経営方針など、学校建設の根幹部分が多岐にわたりましたので、今後は、財源、農振農用地からの除外、埋蔵文化財、通学路対策、社会体育施設利用調整など順次調整作業をすすめてまいります。

②坂田池公園内スポーツ施設の有効利用と学校建設の効率の実施のため、広く設計技術者から提案等を求め、審査会等に諮り決定してまいります。

③技術提案や設計技術者との協議がこれからですので、現

時点で示すのは難しい状況です。また、実施時期については、市町村合併の相手自治体との調整作業もありますが、早期着工を目指し最大限の努力をいたします。

木島 昇 議員

▼町バスの運営

問 ①一泊の視察研修を可能にしたい

答 使用の目的や運行経路等を厳密に審査して、道路運送法

上問題がないと判断すれば、宿泊を伴う利用について最大限の配慮をいたします。

▼屋外防災無線

問 ①増設を考えているか

②今の状況について

答 ①②屋外局については、広域避難場所や個別受信機の受信状態の悪い地区を中心に町内20箇所に設置をいたしました。また、個別受信機は、集会所等も含め3273世帯に設置されています。

当面は、この屋外局と個別受信機を活用しながら防災広報等を進めてまいります。

小川征四郎 議員

▼成田空港

問 ①国際方式の騒音測定を関

係機関に申し入れを

②空港の軍事利用について

答 ①国が採用しているW値（うるささ指数）の実績を踏まえ、慎重に検討してまいります。

②過去の空港建設にかかわる地元の方々の経緯や過去の国会での答弁の重みを踏まえ、慎重に検討し、対応すべきものと考えています。

▼職員の福祉

問 職員の男女格差の実態と改善について

答 職員の昇給昇格等については、条例や規則に基づいて適正に処理されているものと考えています。

また、管理職としての技量のある職員は男女関係無く登用すべきだと考えています。

▼中学校建設問題

問 ①年頭挨拶と旧関係者にとのように対応してきたか

答 「広報よこしば」の年頭挨拶は、地権者の皆様に大変ご迷惑をかけ、誠に申し訳なく存じ、私の率直な気持ちを述べたものです。

また、地権者への対応ですが、今後は、一人ひとりから直接事情を伺い町として何が出来るかを検討してまいります。